

平成29年3月13日

毎日新聞・日本盲人会連合
視覚障害者の鉄道駅に関するアンケート調査 調査結果

毎日新聞東京本社社会部
日本盲人会連合

アンケートについて

(1)実施目的

鉄道駅の利用について、全国の視覚障害者が置かれている状況を把握するために実施した。

(2)調査方法

(1)の目的を全国レベルで調査するため、主要都市圏に在住する視覚障害者に対して、以下の方法で調査を実施した。

- ・無記名アンケート調査(メール回答)
- ・対象者数 300名(日本盲人会連合の会員)
- ・配布地区 東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、高松、福岡
※人口数に応じて各地区での配布数を調整した。

(3)調査期間

平成28年12月8日(木)～12月16日(金)

(4)回収率

222名/300名(74.0%)

(5)回答者の傾向

- ・男女比は男性に若干片寄っている(男性67.6%)。
- ・視覚障害の程度は全盲者に片寄っており、弱視(ロービジョン)の回答者が少ない(全盲63.5%、弱視32.0%)。
- ・単独歩行が出来る視覚障害者からの回答が多いことから、単独で駅利用をしている回答者の回答が多く集まっている。また、一般的には、全盲者が単独歩行する割合は弱視者に比して低いと考えられるが、回答総数に占める単独歩行する全盲者の割合が高くなっている。
- ・年齢、職業は視覚障害者の平均に見合った傾向になっている。

(6) 調査結果の概要

① 駅ホームでの転落について

- ・回答した視覚障害者の31.5%が駅ホームからの転落経験があった。
- ・転落をした時期は大きく差があったが、駅ホームでの設備が充実しはじめた近年でも転落をしている傾向があった。
- ・駅ホームからの救出は「駅員や乗客に助けられた(58.6%)」が多いが、「自力で回避(48.6%)」した回答者も多かった。
- ・転落した原因は「勘違いをした(72.9%)」や「方向性を失った(52.9%)」など、方向を確認出来ないことが原因となる傾向があった。
- ・転落した駅は「いつも利用している駅(72.9%)」で転落をした回答者が多かった。

② 駅ホームの安全性の確保について

- ・安全性の確保に必要な内容は、ホームドアの設置や駅員の増員など「外部的要因」を指摘する回答者(平均77%)が多かった。ただし、歩行訓練のように視覚障害者本人に関わる内容(内部的要因)を指摘する回答者(63.5%)も多かった。
- ・ホームドアの設置については「時間をかけすぎている(51.8%)」と思う回答者が多かった。
- ・ホーム上で困ることは、「点字ブロックの上に荷物を置く(89.3%)」と「スマートフォンの操作をしている人とぶつかる(79.0%)」が多く、視覚障害者では安全回避が出来ないことに対して不満が強い傾向があった。
- ・国や社会全体に対しては、バリアフリーの実現に向けて「何らかの措置や対策を取って欲しい(88.7%)」と思う回答者が多かった。

問1 あなたの個人データに関する質問

(1)性別

(回答者:222名)

	件数	%
①男性	150	67.6
②女性	71	32.0
無回答	1	0.4

(2)年齢

(回答者:222名)

	件数	%
①10歳未満	0	0.0
②10～19歳	0	0.0
③20～29歳	3	1.3
④30～39歳	13	5.8
⑤40～49歳	35	15.8
⑥50～59歳	43	19.4
⑦60～69歳	81	36.5
⑧70～79歳	43	19.4
⑨80歳以上	0	0.0
無回答	4	1.8

(3)お住まいの都道府県と市区町村(自由記述)

集計対象外

- ・回答率が規定数に満たないため、集計対象外とする。
- ・ただし、配布をした各都市からの回答は、各都市別の配布数に見合った割合で回答が回収できている。

(4)職業

(回答者:222名)

	件数	%
①自営業	68	30.6
②会社員	31	14.0
③学生	4	1.8
④無職	70	31.5
⑤その他	49	22.1
無回答	0	0.0

(5) 視覚障害の程度

(回答者:222名)

	件数	%
①全盲	141	63.5
②弱視(ロービジョン)	71	32.0
③色覚障害	2 (6)(*1)	0.9 (2.6)(*2)
④その他	5 (6)(*1)	2.3 (2.6)(*2)
無回答	3	1.3

(*1) ②弱視に回答をした71名の内5名は③色覚障害(4名)と④その他(1名)に複数回答をしていた。この回答者については、②弱視として集計し、③色覚障害と④その他からは除外した。なお、複数回答を含めた場合、③色覚障害と④その他の集計数は下段のカッコになる。

(*2) (*1)の複数回答を含めた場合の割合(対象回答数/回答数の累計227名)。

(6) 視覚障害になり、歩行や日常行動が著しく困難になった時期

(回答者:222名)

	件数	%
①3年以内の間	9	4.1
②3年以上10年以内の間	41	18.5
③10年以上20年以内の間	43	19.4
④20年以上前	109	49.1
⑤特に困難では無い	19	8.5
無回答	1	0.4

(7) 単独歩行の際に主に利用する方法(複数回答可)

(回答者:222名)

	件数	%
①白杖	163	73.4
②盲導犬	19	8.6
③目視で確認	37	16.7
④単独歩行は出来ない	21	9.5
無回答	0	0.0

問2 鉄道利用に関する質問

(1) 鉄道はどの程度の頻度で利用していますか

(回答者:222名)

	件数	%
①毎日	48	21.6
②1週間に数回	81	36.5
③月に数回	67	30.2
④あまり利用しない	26	11.7
無回答	0	0.0

(2) 鉄道を利用する際に優先する基準は何ですか(複数回答可)

(回答者:222名)

	件数	%
①駅施設に安全性がある	80	36.0
②駅が混雑していない	46	20.7
③目的地までの到着時間が短いルート	123	55.4
④その駅や鉄道しか、選択肢はない	126	56.8
⑤その他	24	10.8
無回答	0	0.0

(3) 駅のホームから転落した経験はありますか。

(回答者:222名)

	件数	%
①ある →設問(4)～(6)へ	70	31.5
②ない →問3へ	152	68.5
無回答	0	0.0

以下(4)～(6) 転落経験のある回答者への設問

(4) 転落された際の状況を具体的に教えて下さい

① 事故にあった時期(自由記述)

(転落経験あり:70名)

	件数	%
最近～5年前	11	15.7
6年前～10年前	9	12.9
11年前～20年前	19	27.1
21年以上前	29	41.4
対象外 (*1)	2	2.9
無回答	0	0.0

(*1) 回答者が事故にあった年齢を記載。回数を記載。

② 事故にあった場所

集計対象外

- ・回答者の97%が実際に転落をした駅名を回答している。ただし、転落時期が古い回答が多く含まれており、事故駅の現在の状況と異なる可能性が高いため、集計対象外とした。

③ どのような怪我を負ったか(自由記述)

(転落経験あり:70名)

	件数	%
怪我 なし	29	41.4
軽傷(打撲、擦り傷など)	28	40.0
重症(骨折、靭帯損傷など)	13	18.6
無回答	0	0.0

④ どのような形で助かったか ※複数回答あり(*1)

(転落経験あり:70名)

	件数	%
① 自力での回避	34	48.6
② 駅員に救出してもらう	20	28.6
③ 周りの乗客に救出してもらう	21	30.0
無回答	1	1.4

(*1) 設問では複数回答を求めてはいないが、「③周りの乗客が非常ベルを鳴らして②駅員が救出する」など、駅員と乗客が連携するケース(計6件)があったため、このケースに限り複数回答として集計した。

(5)ホームから転落をした理由を教えてください(複数回答可)

(転落経験あり:70名)

	件数	%
①何らかの理由で方向感覚を失った	37	52.9
②人とぶつかり、進んでいた方向が変わっていた	3	4.3
③勘違いをして踏み外した	51	72.9
④落ちた理由が分からない	3	4.3
⑤その他	25	35.7
無回答	1	1.4

(6)転落した駅はどのような駅ですか ※複数回答あり (*1)

(転落経験あり:70名)

	件数	%
①いつも利用している駅	51	72.9
②初めての駅	9	12.8
③その他	14	20.0
無回答	0	0.0

(*1) 設問では複数回答を求めているが、複数の転落経験がある回答者4名が、①いつも利用している駅と②初めての駅の両方で転落経験があったため、複数回答を行っている。そのため、複数回答可として集計をした。

問3 鉄道の安全対策に関する質問

(1) 転落を防ぐため効果的だと思う対策は何ですか(複数回答可)

(回答者:222名)

	件数	%
①ホームドアの設置	206	92.8
②内方線付き点状ブロックの敷設	148	66.7
③駅員の増員配置	161	72.5
④第三者の声掛けの普及	170	76.6
⑤自身の注意力を高める(歩行訓練など)	141	63.5
⑥その他	39	17.6
無回答	1	0.4

(2) 駅での安全確保のため、ご自身で工夫していることはありますか(複数回答可)

(回答者:222名)

	件数	%
①事前に調べた安全なルートを辿って移動している	114	50.9
②地面の形状、段差、ホーム端を常に確認しながら移動をしている	146	62.5
③周囲の音や人の動きを注意しながら移動している	173	77.2
④なるべく混んでいる場所を避けて移動している	83	37.1
⑤分からなくなったら周りの駅員・利用者に助けを求める	144	64.3
⑥その他	52	23.2
無回答	3	1.4

(3) 国は鉄道各社によるホームドア設置のある駅を2020年までに全国で800駅にしようとしています(現状は665駅)。この国の方針をどう思いますか。

※複数回答あり (*1)

(回答者:222名)

	件数	%
①800駅では少なく、設置に時間をかけすぎている	115	51.8
②設置目標は少ないが、費用がかかるので仕方がない	71	32.0
③これくらいの設置目標が妥当	7	3.2
④その他	42	18.9
無回答	7	3.2

(*1) 設問では複数回答を求めているが、20名近い回答者が複数回答を行ったため、複数回答可として集計をした。

(4) あなたが移動中に駅を利用する健常者の行動で困ることはありますか

(複数回答可)

(回答者:222名)

	件数	%
①点字ブロックの上に立ち止まったり、荷物を置いたりしている	200	89.3
②スマートフォンの操作に集中していて、ぶつかってしまう	177	79.0
③助けを求めても、誰も反応してくれない	61	27.2
④その他	52	23.2
無回答	7	3.2

(5) 駅を利用する健常者に対して、視覚障害の特徴で理解してほしいことは何ですか。(自由記述)(複数回答可) (回答数 38名/222名 14.9%)

	件数	%
白杖を持っていることに気付いてほしい	14	36.8
目が見えない・見えづらいことに配慮して欲しい	8	21.1
声のかけ方を工夫して欲しい	6	15.8
誘導の仕方を工夫して欲しい	3	7.9
周囲の音を聞き取りやすくして欲しい	3	7.9
弱視者への配慮をして欲しい	4	10.5
立ち止まっていることに気付かないことを理解して欲しい	1	2.6

(6) バリアフリー社会の実現のため、国や交通機関、社会が今後取り組むべきことはあると思いますか。また、その理由を教えてください。(回答者:222名)

	件数	%
①ある	197	88.7
②ない	6	2.7
無回答	19	8.6

「①ある」の理由(自由記述)

(回答者:197名)

	件数	%
障害者理解、心の充実	58	29.4
ホームドアの早期設置	36	18.3
駅員等の声掛け、案内の充実	28	14.2
設備のユニバーサルデザイン化	34	17.3
その他	36	18.3
回答なし	46	23.3